



# か す い

なえる てきな ろどりあるまち 通信第6号

令和4年3月10日 発行：豊島区教育委員会事務局庶務課



2月17日はオンライン学習発表会でした。多くの方が初めての試みで、どうなることかとドキドキワクワクしていましたが...大成功でした！皆さんの準備と探求心のおかげだと思えます。本当にありがとうございました。

今回のかすい通信では、齋藤先生の講義を中心に学習発表会をふりかえります。

## オンラインでワークショップをやってみる！

午前中の準備を始める前に「今日の学習発表会をとおして、ファシリテートの理念・技術を家庭教育に応用してほしい」という願いがあると齋藤先生からお話がありました。そして、なぜふりかえりが大事なのか説明をいただきました。

**ワークショップなどのアクティブラーニングで重要なこと**

ふりかえり=リフレクション  
経験からどのように学ぶか

・社会人 学びの法則

**10:20:70**

～優れたマネージャーは何から学んでいるのか～  
10: 読書・研修  
20: 他者からのアドバイス  
70: 直接的な経験

経験から学ぶためには：リフレクションよくある例

ふりかえり（リフレクション）は、経験したものを学びに  
つなげるために必要なことです。

まずは左の丸い図の説明です。これは年間の講座全体の中  
身を指します。導入から始まって、課題は何かをリサーチ→  
仮説をもとに企画をたてて準備→企画を実施→ふりかえりで  
完成となります。そして、右側の図は、講座1回ごとの流れ  
になります。レクチャーがあって、グループワークをしま  
す。講座の後に、リフレクションをして、講師から今回の講  
座についてフィードバックをします。1回1回のふりかえり  
を重ね、講座を組み立てていきます。

「社会人 学びの法則」によると、学び全体を100とす  
ると、70は直接的な経験から学ぶといわれているようで  
す。その直接的な学びをさらに実りあるものにするためには  
どうしたらよいか、「部下の育成」にあてはめた説明があり  
ました。部下に何か仕事をさせてみて、終わった後になぜう  
まくいったのか、うまくいかなかったのかを内省（リフレク  
ション）して、次への教訓を引き出すことが重要なのだそう  
です。

「活動をさせてみるということが前提だが、うまくいか  
いかなかったかが問題ではなく、なぜそうなったのかを考え  
させ、汎用的な要因をしっかりと考えさせるということが部  
下の育成のためにも、子供の育ちのためにも必要だというこ

とを心にとめておいてほしい。そして今日のワークショップの実践でも忘れずに考えてほし  
い。」とのお話がありました。また、発表を楽しんでとアドバイスもいただきました。

## オンラインワークショップ ～各班の感想「やってみて」「受けてみて」～

ここからは、各班の発表者の感想と、その聞き手になった方の感想です。

### 1班 ～親子で楽しもう～しりとりジェスチャーゲーム

- 発表者
- ・同じ班のメンバーの表情を見ながら取り組めたので、安心して笑顔で楽しくできた。
  - ・予想通りにスムーズに進行できた。
  - ・画面共有を活用できたらもっとよかった。
- 参加者
- ・ネットの調子が悪くても、臨機応変に対応できていて感心した。
  - ・子供と一緒に参加すると、ますます楽しそうなワークショップだと思った。

### 2班 無理なく親子で心地よいポーズを共有～キッズヨガ～

- 発表者
- ・斎藤先生がおっしゃっていた通り、聞き手の皆さんが積極的に参加して下さっているのが、画面越しに伝わり、緊張から楽しさに変わって発表できた。
  - ・台本を作り込んでいたので、安心して本番に臨むことができた。Google Meetの機能をうまく活用できた。（挙手機能、画面共有、ピン留め/外し、マイクオン/オフ）
- 参加者
- ・よがのポーズごとにどんな効果があるのか説明があり、わかりやすかった。スタンプラリーも達成感が味わえてよかった。
  - ・すごく準備をされていて、満点に近い進行だった。クイズ要素も素晴らしい構成だった。

### 3班 オンライン〇〇 身近なものでパッと印象アップ

- 発表者
- ・皆がそれぞれの役割をこなし、発表をまとめることができたと思う。時間がない中、協力して発表を仕上げることができた。
  - ・たまにプレゼンテーションをするのは楽しく、よい経験になった。
- 参加者
- ・印象がよくなる見え方のアイデアを教えてもらえ、ウェブ会議などに参考にしたい。
  - ・少しの変化で見方が変わってきたり、白い服が良いなどの情報を検証していて面白かった。

### 4班 我が家の姉妹都市

- 発表者
- ・午前中にきっちりリハーサルができ、台本も作ってあったので、あまり緊張しなかった。
  - ・話し合い、まとめ上げていく、協力しあうことの大事さを改めて学べた。
  - ・スライドに挑戦したかった。会場を巻き込めればもっとよかった。
- 参加者
- ・子供が世界や日本の都市に興味があり、コミュニケーションを取れると思った。
  - ・デジタルとアナログの資料の両方があり、よかった。

### 5班 コロナ禍における子育ての悩み

- 発表者
- ・悩み共有については比較的まじめなトーンだったが、表情筋トレーニングで、それが緩んで笑顔が見れて、良い組み合わせだった。
  - ・参加者に考える時間をもっと設けたら、よりたくさんの方の意見が聞けたと思った。
- 参加者
- ・台本ではなく、その場の生の声の意見交換ができていて実感できた。
  - ・共通の悩みを聞いてよかった。表情筋のトレーニングがあったのもよかった。

### 6班 いろいろな紙飛行機をつくろう

- 発表者
- ・子供と一緒にできて楽しい企画に仕上がった。
  - ・飛行機を作って、実際飛ばした感想など、もっと参加者に聞き出せばよかった。
- 参加者
- ・手軽にできて、うまく飛ぶと楽しい。また子供と一緒に作業できて、楽しく参加できた。
  - ・紙飛行機は飛ばすのが面白い部分でもあるので、折った飛行機で飛ばす競争などしてもよかった。

ここからは、皆さんからいただいたアンケートを一部ご紹介します。



Q 印象に残ったことはなんですか。

- 発表時、各班の特色が出たと思った。
- 6班いてもテーマが被らないものだと思い、新鮮だった。
- ほかの班のがんばり。とてもよく準備されていて感心した。
- 他の班の人たちと画面上でかかわれたこと。
- 協力することの楽しさ。
- グループで一つの事に取り組んでやることの楽しさ。
- 無事に終わることができて、チームとしてまとまった。
- 直前まで話し合いを重ね、みんなで意見を出し合い、台本を作り、発表会で出し切れたこと。
- リハーサルの大切さ。
- 参加者が盛り上がることで、成功に繋がるということ。
- 各班の工夫。参加者・聞き手の全員が参加できるようにするのが大事だと思った。
- 画面共有。
- 画面が消えてしまい、見ていただけなのか不安になった。
- オンラインだけでワークショップを作る、というやったこともないし、できる気がしなかったことでしたが、やってみたら意外とできるという発見。
- オンラインだけで発表会を行えることが、すごいことだなと思った。
- オンラインでも工夫次第で子供、家族や友人とのコミュニケーションができるということがわかった。
- 「受動的に」ではなく「能動的に」が、教育学の主流というお話があったが、小中学校の授業はまだまだ追いついていない印象を持った。先生方が研修を受ける余裕があるとよいと思った。
- こういったワークショップに参加することで、少しでも自分や相手への気づきのきっかけになるのではないかと感じられたこと。

Q 今回学習した内容で、これから実行しようと思ったことを1つ挙げてください。

- オンライン時にはリアクションを大きくする。
- 画面共有の資料を作成できるようになりたい。
- 次回の準備！
- 子供とのコミュニケーションをもう少し積極的に取りたいと思った。（多数）
- 早速子供とやってみたい。
- コロナ禍でも子供との毎日の遊びやコミュニケーションの工夫をしていきたい。
- 子供と福井に行ってみようと思った。
- 今後もオンライン授業が当たり前になっていくと思うので、子供に寄り添いながら、自分も学んだり活用して、慣れていこうと思います。
- 今後もオンラインをどんどん活用していきたい。（多数）
- オンラインでコミュニケーションが取れることがわかったので、いろいろな形で子供や他の人もコミュニケーションを取ってみたいという意欲がわいた。
- 今まで苦手意識のあったオンラインでの活動だったが、これからは積極的に取り組みたい。
- 今回ワークショップを作ることで、Google Meetの機能を主体的に利用できたのは、よい経験になった。

- オンラインであってもリアルであっても、相手の意見を丁寧に聞き、自分の意見を真摯に伝える。そういう当たり前のことをオンライン上でも改めて心がけることで、繋がりが強くなるのだと思った。
- ふりかえりをしっかりすること。
- 楽をせずに、いろいろなところでよく話し合っていく。
- 他者からのアドバイスを積極的に、取入れること。
- オンラインであってもコミュニケーションを大事にしていきたい。
- 何事においても積極的に楽しんで取り組むこと。アクシデントや失敗を必要以上に恐れないこと。

Q その他お気づきの点があればやご意見があれば、ご記入ください。

- 全体を通して思っているのですが、録画受講でもよいのではないかと自分のためにはなっているが、無理して仕事を休んでまですることなのかという疑念がある。参加方法など検討していただきたい。
- 発表会の1日が長すぎる。発表も2日に分けたり、工夫してほしい。  
▷皆様のご意見も参考にしながら、参加しやすくなるよう考えていきたいと思ひます。  
ご意見ありがとうございます。
- ネット環境が悪く、音声や画面が途切れ、困った。

カスイの皆さん、ご参加ありがとうございました！昨年に引き続きオンラインの開催でしたが、準備不足などもあり、いろいろとご迷惑やご不便をおかけしました。皆さんのチャレンジする気持ちと温かい言葉に、毎回励まされ無事に最終回を迎えることができました。

一度もお会いすることが無かった方がほとんどですが、オンラインでも伝わるものがたくさんあることを私たちも学んだ1年間でした。本当にありがとうございました。